

クセになるご当地グルメがいっぱい

北塩原村観光物産展を開催しています

5月26日(火)から、杉並区役所(阿佐谷南1-15-1)中杉通り側入口前で、交流自治体である福島県北塩原村の観光物産展が開催され、旬の野菜や温泉水を煮詰めて作った「山塩」などの特産品を目当てに多くの買い物客でにぎわっています。この催しは明日、27日(水)まで開催しています。

北塩原村は、福島県西部(会津地方)に位置し、磐梯山の北麓に位置する地域は裏磐梯と呼ばれ、夏には登山客、冬にはワカサギ釣りやスキー客が多く訪れます。また、地区ごとに異なる環境条件に適した高原野菜や花豆の栽培など盛んに行われています。

区役所玄関前では交流自治体である北塩原村を杉並区民にもっと知ってもらおうと観光物産展が開催されています。区では、地方との共存共栄のために自治体間連携を進めようとしています。こうしたことを念頭に市民レベルでも交流が高まるよう、交流自治体の物産展などを定期的で開催しています。



本日、開かれた物産展では、自然豊かな北塩原村で作られた旬のアスパラやウレイなどの山菜のほかに特産品の販売をしています。特産品の中には大塩裏磐梯温泉の温泉水を煮詰めて作った伝統の塩「会津山塩」を使ったバウムクーヘン(1,300円)や標高800メートル以上の畑でないと栽培が難しいと言われている貴重な豆「花豆」(400円)など、なかなか手にすることができない商品が並んでいます。

北塩原村の担当者は「直接ふれあうことができる時間はとても貴重です。北塩原村を知ってもらいぜひ、遊びにきてほしいですね」と話していました。

初夏の北塩原村観光物産展

【日時】5月26日(火)・5月27日(水) 午前10時～午後3時(売り切れ次第終了)

【場所】杉並区役所(杉並区阿佐谷南1-15-1)

【その他】買い物袋をご持参ください

【問い合わせ先】

区民生活部文化・交流課 TEL 03-3312-2111 内線 3785